

短期ハイイールド債券ファンド（ヘッジあり） ＜愛称：ヴィンテージ＞

追加型投信／海外／債券

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主として海外の短期高利回り社債に実質的な投資を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。

ここに、運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2022年5月3日～2022年10月28日

第20期	償還日：2022年10月28日	
償還日 (2022年10月28日)	償還価額	9,160.64円
	純資産総額	140百万円
第20期	騰落率	△5.1%
	分配金合計	0円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。
(注2) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

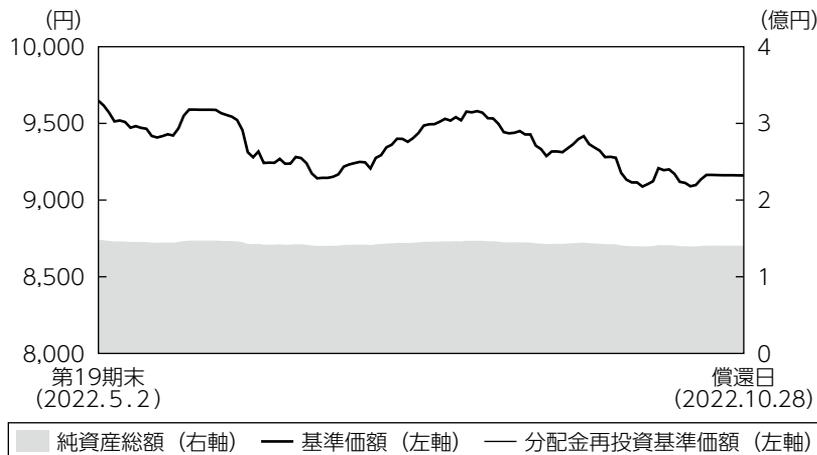
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第20期首： 9,648円
 償還日： 9,160.64円
 (既払分配金0円)
 騰落率： Δ 5.1%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

当ファンドはアイルランド籍の外国投資信託「ミューズニッチ・ショート・デュレーション・ハイイールド・ファンダーヘッジドJPYインカムSユニット」（以下、「SDHY円ヘッジユニット」といいます。）と国内投資信託「DIAMマネーマザーファンド」を投資対象とするファンド・オブ・ファンズです。また、SDHY円ヘッジユニットにおいて対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

主として海外の短期ハイイールド債券に実質的な投資を行った結果、市場が下落したことなどから、基準価額（税引前分配金再投資ベース）は下落しました。

主として海外の短期ハイイールド債券に実質的な投資を行った結果、2020年の新型コロナウイルス問題などを背景に市場が一時下落する局面もありましたが、設定来では2021年末まで為替ヘッジ後で概ね横ばいで推移しました。その後、2022年の年初以降の債券市場の下落に伴い、当ファンドの設定来の基準価額（税引前分配金再投資ベース）は下落しました。

1 万口当たりの費用明細

項目	第20期		項目の概要
	(2022年5月3日 ～2022年10月28日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	54円	0.582%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,348円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(18)	(0.189)	
(販売会社)	(35)	(0.378)	
(受託会社)	(2)	(0.016)	
合計	54	0.582	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

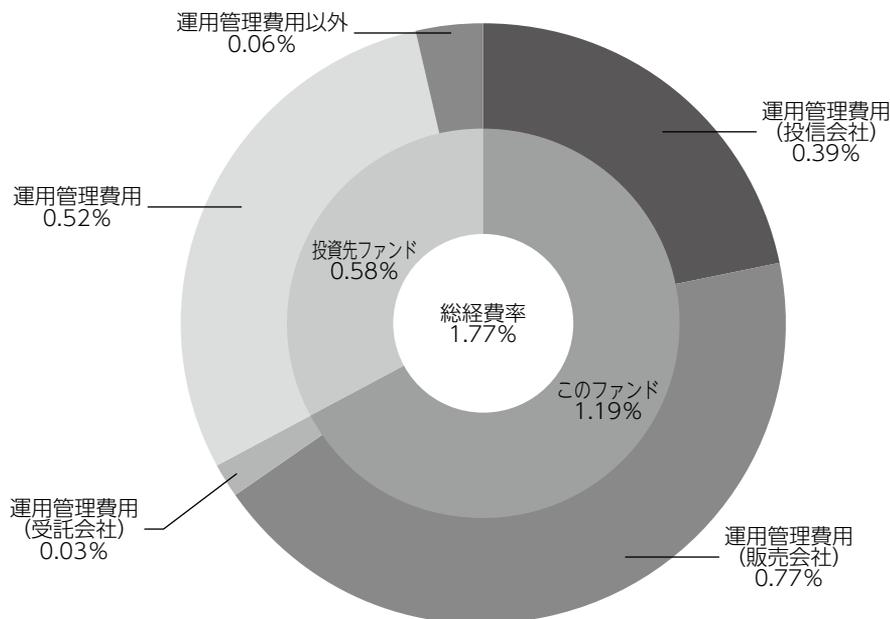
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.77%です。



総経費率 (①+②+③)	1.77%
①このファンドの費用の比率	1.19%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.52%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.06%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

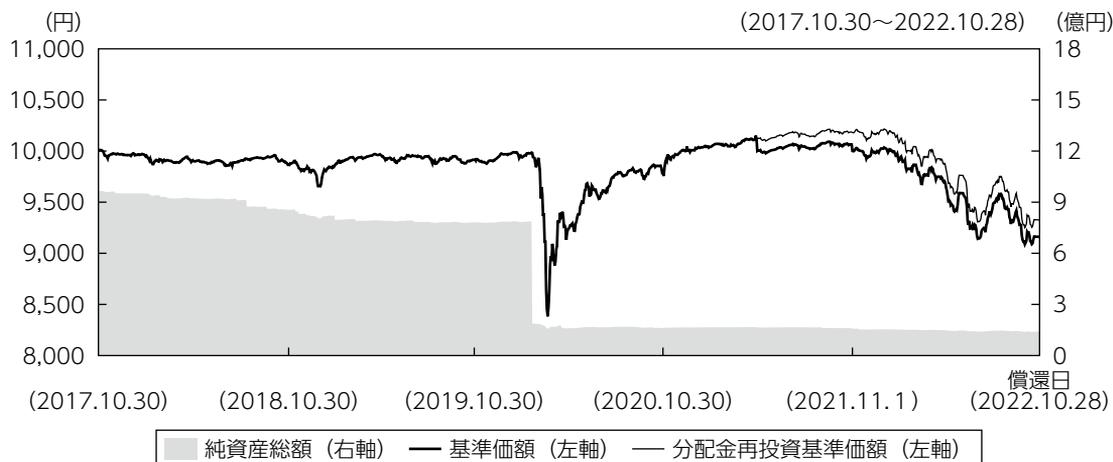
(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2017年10月30日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2017年10月30日 期首	2018年10月30日 決算日	2019年10月30日 決算日	2020年10月30日 決算日	2021年11月1日 決算日	2022年10月28日 償還日
基準価額 (分配落) (円)	10,008	9,865	9,916	9,793	10,001	(償還価額) 9,160.64
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	0	0	0	180	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△1.4	0.5	△1.2	4.0	△8.4
純資産総額 (百万円)	965	854	781	161	157	140

(注) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

■ 設定来の投資環境

短期ハイイールド債券市場は上昇しました。

2020年の新型コロナウイルス問題などを背景に市場が一時下落する局面もありましたが、2021年末にかけて上昇しました。2022年の年初以降は、インフレ加速に対する懸念が強まるなか、F R B（米連邦準備理事会）による利上げペースの加速を背景に下落する展開が続きました。信用スプレッドは概ね横ばいでした。

国内短期金融市場では、3ヵ月国庫短期証券利回りは、0.10%程度で始まりました。2013年3月に就任した黒田総裁のもとで、日本銀行はそれまでの金融緩和政策をより大規模に拡大し、同利回りは低下傾向となりました。その後、日本銀行は2016年1月にマイナス金利政策を導入し、同利回りはマイナス水準の推移となりました。

設定来のポートフォリオについて

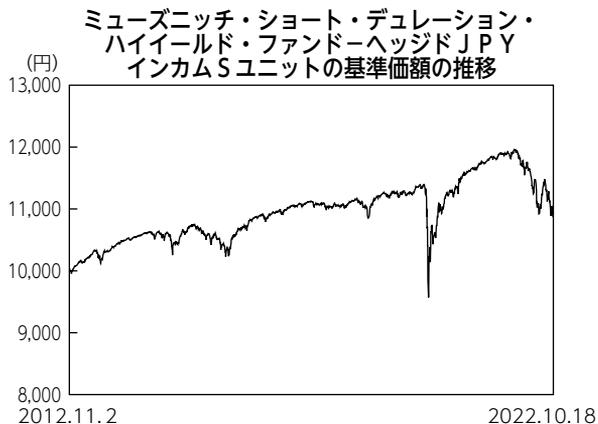
●当ファンド

S D H Y円ヘッジユニットの組入比率を高位に維持しました。また、D I A Mマネーマザーファンドへの組入れを継続しました。

●S D H Y円ヘッジユニット

主として海外の短期ハイイールド債券に投資することで、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。

国別では、米国の組入比率を高め維持しました。信用格付け別ではB格、B B格を中心とし、業種別ではヘルスケア、サービスなどの組入れを高めとするポートフォリオを構築しました。また、対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。



※基準価額は、当作成期間における分配金を再投資したものとみなして計算しています。

●日本短期公社債マザーファンド

残存期間の短い国債や地方債などで運用を行いました。

●D I A Mマネーマザーファンド

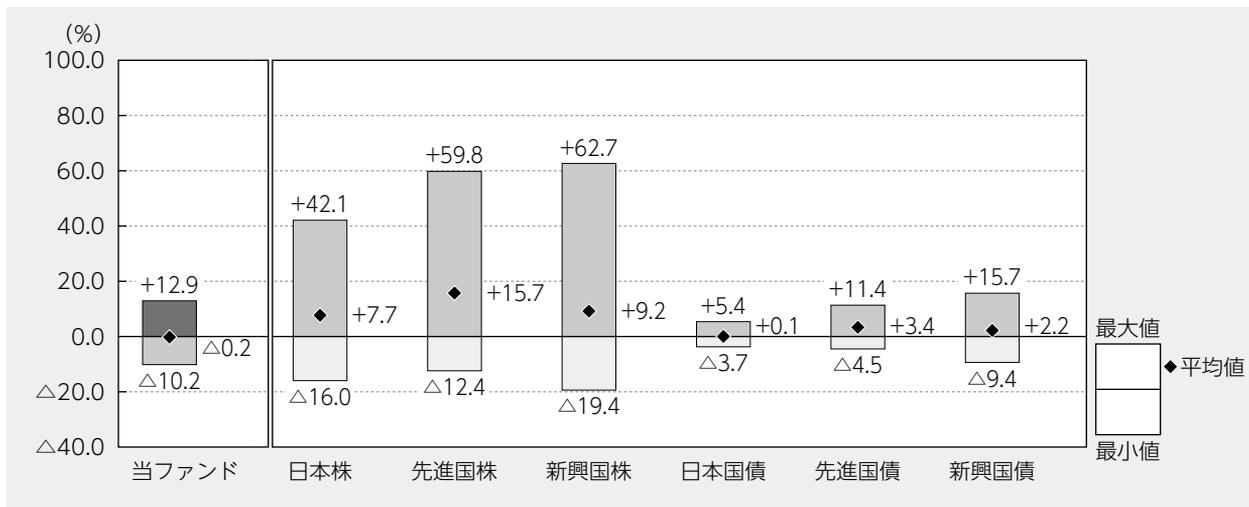
残存期間の短い国債などで運用を行いました。

このたび償還を迎えるにあたりまして、当ファンドへのご愛顧に心より感謝申し上げますとともに、今後とも一層のお引立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2012年11月1日から2022年10月28日までです。	
運用方針	投資信託証券を主要投資対象として、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	短期ハイイールド債券 ファンド（ヘッジあり）	投資信託証券。
	ミューズニッチ・ ショート・ デュレーション・ ハイイールド・ ファンドーヘッジ JPYインカムSユニット	海外の短期高利回り社債。
	D I A M マネー マザーファンド	国内発行体の公社債、転換社債、ユーロ円債、資産担保証券なら びにCD、CP、コールローン等の国内短期金融資産。
運用方法	<p>以下の投資信託証券を通じて、主として海外の短期高利回り社債に実質的な投資を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。</p> <p>アイルランド籍外国投資信託 ミューズニッチ・ショート・デュレーション・ハイイールド・ファンドーヘッジ JPYインカムSユニット（以下「SDHY円ヘッジユニット」といいます。）円 建受益証券</p> <p>内国証券投資信託（親投資信託） D I A M マネーマザーファンド受益証券</p> <p>各投資信託証券への投資割合は、資金動向や市況動向等を勘案して決定するものとし、SDHY円ヘッジユニットの組入比率は、原則として高位とすることを基本とします。</p> <p>当ファンドの資金動向、市況動向等によっては、また、やむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。</p>	
分配方針	<p>分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、投資信託証券からの分配金水準等を参考に委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。</p>	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2017年10月～2022年9月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

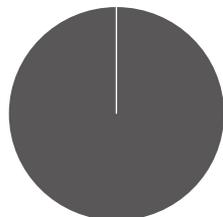
※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2022年10月28日現在）

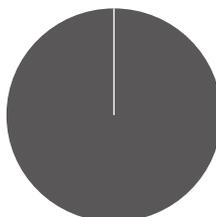
当ファンドに組入れておりました有価証券は期中に全て売却し、また親投資信託受益証券は期中に全て解約いたしました。

◆資産別配分



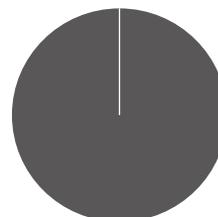
その他
100.0%

◆国別配分



その他
100.0%

◆通貨別配分



その他
100.0%

（注1）比率は償還時における純資産総額に対する割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。

純資産等

項目	償還時
	2022年10月28日
純資産総額	140,567,778円
受益権総口数	153,447,575口
1万口当たり償還価額	9,160.64円

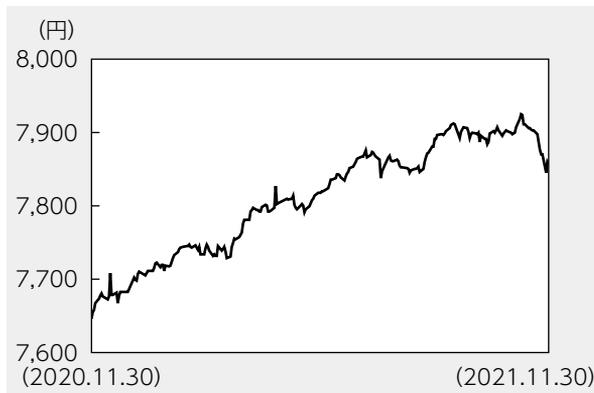
（注）当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は0円です。

組入ファンドの概要

※償還時における組入ファンドはありません。

【ミュージズニッチ・ショート・デュレーション・ハイイールド・ファンドヘッジJ P YインカムSユニット】（計算期間 2020年12月1日～2021年11月30日）

◆基準価額の推移



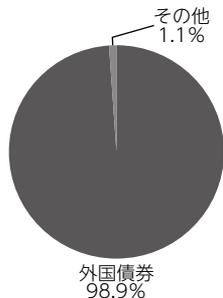
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
Nexstar Broadcasting Inc 5.625% 15/07/2027	アメリカ・ドル	1.0%
Amkor Technology Inc 6.625% 15/09/2027	アメリカ・ドル	1.0
American Axle & Manufacturing Inc 6.5% 01/04/2027	アメリカ・ドル	1.0
Level 3 Financing Inc 5.25% 15/03/2026	アメリカ・ドル	0.9
Caesars Entertainment Inc 6.25% 01/07/2025	アメリカ・ドル	0.9
Select Medical Corp 6.25% 15/08/2026	アメリカ・ドル	0.9
Ziggo BV 5.5% 15/01/2027	アメリカ・ドル	0.8
Trinseo Materials Operating SCA 5.375% 01/09/2025	アメリカ・ドル	0.8
Allied Universal Holdco Llc 6.625% 15/07/2026	アメリカ・ドル	0.8
ModivCare Inc 5.875% 15/11/2025	アメリカ・ドル	0.8
組入銘柄数	253銘柄	

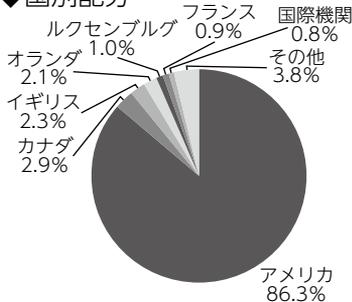
◆1万口当たりの費用明細

費用明細については開示されていないため、掲載していません。

◆資産別配分



◆国別配分



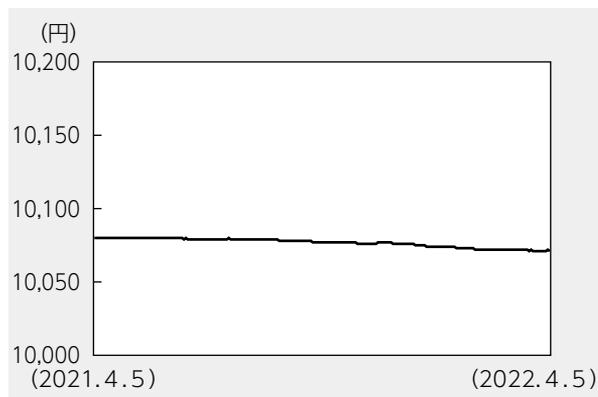
◆通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移はミュージズニッチ・ショート・デュレーション・ハイイールド・ファンドヘッジJ P YインカムSユニットの計算期間のものです。また、分配金を再投資したものとしてアセットマネジメントOneが作成したものです。
- (注2) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、ミュージズニッチ・ショート・デュレーション・ハイイールド・ファンドの決算日現在の状況を表示しております。
- (注3) 組入上位10銘柄、資産別配分の比率は、ミュージズニッチ・ショート・デュレーション・ハイイールド・ファンドの純資産総額に対する組入有価証券評価額の割合です。
- (注4) 国別配分、通貨別配分の比率は、ミュージズニッチ・ショート・デュレーション・ハイイールド・ファンドのポートフォリオ部分に対する組入有価証券評価額の割合です。
- (注5) 国別配分については、上位8位以下をその他に含めて集計しています。
- (注6) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は、未払金等の発生によりマイナスになることがあります。
- (注7) 「ミュージズニッチ・ショート・デュレーション・ハイイールド・ファンドヘッジJ P YインカムSユニット」は、「ミュージズニッチ・ショート・デュレーション・ハイイールド・ファンド」の個別ユニットとなっております。
- (注8) 円ベース投資での為替リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。
- (注9) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分は、財務書類および、ミュージズニッチ・アンド・カンパニー・インクのデータをもとにアセットマネジメントOneが作成したものです。組入全銘柄や費用の総額に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

【DIAMマネーマザーファンド】（計算期間 2021年4月6日～2022年4月5日）

◆基準価額の推移



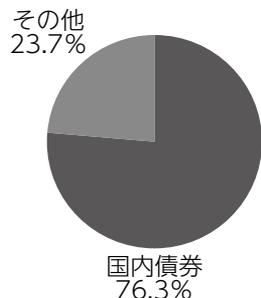
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
413回 利付国庫債券（2年）	日本・円	17.6%
418回 利付国庫債券（2年）	日本・円	16.8
416回 利付国庫債券（2年）	日本・円	16.8
415回 利付国庫債券（2年）	日本・円	16.8
419回 利付国庫債券（2年）	日本・円	8.4
—	—	—
—	—	—
—	—	—
—	—	—
—	—	—
組入銘柄数	5銘柄	

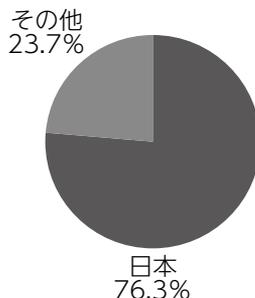
◆1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

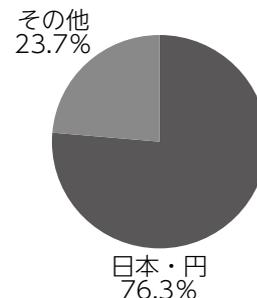
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので。

(注2) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注4) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注5) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

(このページは白紙です)

